

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	英語演習		
英文授業科目名	Intermediate Seminars in English		
開講年度	2009年度	開講年次	2年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	西村 芳康		
居室	東1-714		

公開E-Mail	授業関連Webページ
eigokyoumu@bunka.uec.ac.jp	なし

<p>【主題および達成目標】</p> <p>学修要覧をよく読むこと。以下はそこから抜粋したもの。 「英語演習クラスは英語必修科目の延長線上にある科目で、学生が批判的思考と自律的学習の姿勢を更に伸ばし、アカデミックな英語を習得する手助けになるよう開講されている」</p>

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>Academic Spoken English I, II Academic Written English I, II (開講後に成績証明を用いて確認する)</p>
--

<p>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</p> <p>なし</p>
--

<p>【教科書等】</p> <p>Intermediate Skills for Reading 「リーディングスキルの実践演習」 Neil J. Andersonほか1名(成美堂) Heinle (Thomson)社版のテキストに基づく 'Scanning', 'Skimming', 'Predicting'などのリーディングスキルを学ぶために、様々な話題の本文(平均400語)が編集されている。 <目次の例> 1. Formal Letter Writing: A Dyng Art? 2. U.S. Teens: Reading Is Interesting 3. How Old Is Old Enough? 4. The</p>

電気通信大学 平成21年度シラバス

History of Hollywood 5. Numbers and Beliefs 6. The History of Chocolate

【授業内容とその進め方】

(a) 授業内容

総合的な読解力を高めるために、その基礎として「文章構造の理解」と「文脈の把握」を上達させることを主な目的とする精読講座である。収録英文は段落構成が明確であり、段落相互の「論理的展開」をつかむことも重視する。1回の授業で1課を扱う予定だが、テキストは20課構成なので扱う課を早めに連絡する。各課は4頁の構成で、(1)リーディングスキルの説明(2)約400語の英文(レベルは中級程度)(3)練習問題から成る。

(b) 授業の進め方

最初に各課のリーディング・スキルを理解したあと、アカデミック・ライティングの構成を利用して各段落のトピック・センテンスを指摘したり、段落相互の関連や論理展開を理解する。最後に各種の設問を解いて、時間があれば本文の日本語要約を書く。

なお、開講後に方法や手順を変更することがある。

【授業時間外の学習(予習・復習等)】

(予習)自分のペースで本文全体を読んで、分かりにくい文章に下線を引いておく。授業中には特に下線部に注意を払って内容の理解に努めることができる。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法 下記の(1)を中心とした総合評価をする。

- (1) 期末試験(受験には授業回数数の3分の2以上の出席数が必要条件)
- (2) 出席状況(妥当な理由がある場合は、欠席・遅刻届けを教員に提出)。
- (3) 授業中の態度や、発表の仕方・レポートの提出など。
- (4) 臨時に行なう小テストなど。

評価基準

基本的に、大学作成の基準に基づく。

100～90点は秀、89～80点は優、79～70点は良、69～60点は可、60点未満は不可。

平成16年度以降は「評価平均」が導入されて、不可や履修放棄は0点として計算に入れられるので注意すること。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、メールなどで事前に予約を取ること。

【学生へのメッセージ】

1. 英語に触れるひとときを生活の中に組み込むことがポイントです。
2. 実用的な音声英語の自習には、NHKラジオ・テレビの語学番組がお勧めです。

電気通信大学 平成21年度シラバス

【その他】
なし